

◆大坂ふれあいの森は、和光市が地権者より借地した約1400㎡の市民緑地です。江戸時代の白子宿のはずれ、古の川越街道の急坂路のかたわらにあります。

◆美しい斜面林とその林床には、カタクリやイチリンソウなどの貴重な野草があり、湧き水に恵まれ、その湧き水をもたらす武蔵野台地の十数万年の地層を観察できる都会のオアシスです。



カタクリ



イチリンソウ



湧水の水辺



熊野神社



富澤湧水

白子宿特別緑地保全地区(富澤湧水群)



都市部の大切な自然

大坂ふれあいの森

◆白子大坂ふれあいの森の会は、和光市との協働事業として、NPO法人 和光・緑と湧き水の会と協力して、身近な自然を保全し、子供たちが自然にふれ合える場、市民の憩いの森となるよう活動しています。



保全活動・人のふれあい



キツネノカミソリ

大坂ふれあいの森ガイドマップ

- ◆制作：白子大坂ふれあいの森の会
- ◆協力：NPO法人 和光・緑と湧き水の会
- ◆連絡先：高橋 048-462-9912

和光市都市整備課 048-464-1111

© 2017年

大坂ふれあいの森のあらまし

春

夏

秋

冬



周囲の環境

◆大坂ふれあいの森は、和光市と東京都の境を流れる白子川左岸に連なるグリーンベルトの中核です。

◆市内の越後山や牛房八雲台特別緑地保全地区、百段階段横の白子の滝付近、当地、白子宿特別緑地保全地区、熊野神社、地福寺、成田山神護寺と、第五小学校から白子小学校に連なる緑地です。動植物の移動を助け、通勤や通学、散策のコースとして和光市の生活環境を守る大切な緑と水の連なりです。

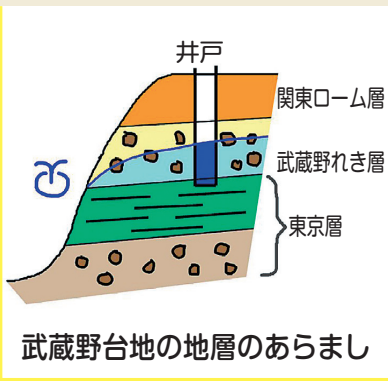
大坂ふれあいの森は四季を通して貴重な生き物の宝庫です

◆豊かな落葉樹の斜面林のかたわらに、春はカタクリやイチリンソウ、夏はキツネノカミソリが花を咲かせ、湧き水の流れにはサワガニやヘビトンボ、また多くのチョウやトンボが見られます。

◆今でも湧き水を集めて配水するタンクが街角にあり、湧き水の文化が継承されています。この豊富できれいな湧き水が流れる街づくりを進めたいものです。



オニヤンマ



武蔵野台地の地層のあらまし



地層を見る



地下水の高さを知る井戸



ヘビトンボ



ゴマダラチョウ

皆さんの住む大地の成り立ちや湧き水の仕組みを見ることができます

◆南西側の崖地には、関東ローム層が見られ、その下部に武蔵野れき層、また、崖地の下には小さな井戸があり、溜まった水の水面は地下水の高さを示しています。地下水は湧き水の源です。近くの富澤湧水では、水を通しやすい武蔵野れき層の下に水を通しにくい粘土質の東京層があり、れき層の下部から湧き水が流れ出ている様子や湧き水の仕組みが良く見えます。

◆東京層は数十万年前にこの地が浅い海であった場所にできた地層、武蔵野れき層は十数万年前に古多摩川が多量の石を運んできた地層、関東ローム層はその後の時代に関東西部の箱根や富士などの噴火の火山灰が積もった「赤土」の地層です。大坂ふれあいの森の関東ローム層の中に見られる厚さ約 20cm の黄色の地層は、約六万年前の箱根の大噴火によるものとされています。ここは地学の標本のような大変貴重な自然なのです。



サワガニ